

THE 29TH
OITA
INTERNATIONAL
WHEELCHAIR
MARATHON

第29回

大分国際
車いす
マラソン

2009.10.25 SUN

11:00 START



それぞれの道、それぞれの闘い、それぞれの栄光！



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

■ 開会式

10.24 SAT 16:00～[ガレリア竹町ドーム広場]

■ 閉会式・表彰式

10.25 SUN 14:20～[大分市営陸上競技場]



第29回
大分国際車いすマラソン大会
会長 大分県知事
広瀬 勝貞

MESSAGE

1981年の国際障害者年を記念してここ大分の地で産声を上げた「大分国際車いすマラソン大会」は、これまで多くの方々を支えられ、数々のすばらしい記録と想い出を残し、現在では世界最高峰の車いすマラソン大会と称えられるまでに成長しました。

昨年の第28回大会は、海外14か国、国内38都道府県から281名の車いすアスリートが参加しました。レース当日は、スタート直前まで冷たい雨の降る気象条件でしたが、2008北京パラリンピック競技大会や第8回全国障害者スポーツ大会「チャレンジ!おおいだ大会」の感動を引き継いで熱戦が繰り広げられ、復活優勝や2年連続の世界記録更新など、記憶に残る大会となりました。

それぞれの目標に向かって、ひたむきに自己の限界に挑む車いすアスリートの姿と、障がいの有無を超えたふれあいと熱い友情に、私は、いつも大きな感銘を受けております。

今年の第29回大会においても、フィニッシュを目指す車いすアスリートの姿は、障がいのある方々のみならず、沿道の県民の皆さんにも勇気と希望、そして深い感動をもたらすことと思います。今年もあなたの参加をお待ちしています。

大分でまたお会いしましょう。

第29回 大分国際車いすマラソン大会実施要綱

1 目的 この大会は、日本国内及び外国・地域の身体に障がいのある方が車いすマラソンを通じて、希望と勇気をもって社会に参加する意欲を喚起するとともに、広く県民が障がいのある方についての関心と理解を深めることを目的とする。

2 名称 第29回大分国際車いすマラソン大会
3 主催 大分県、財団法人日本障害者スポーツ協会・日本パラリンピック委員会、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、財団法人自治総合センター、大分県障がい者体育協会

4 公認 国際パラリンピック委員会
(この大会は、IPC Athletics Approved Event として公認を受けている。マラソンについては、IPC Athletics 選手ライセンス登録が完了し、かつ、国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、IPC Athletics の公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、IPC Athletics の公認対象ではない。)

5 主管 大分陸上競技協会
6 後援(予定) 外務省、厚生労働省、日本身体障害者陸上競技連盟、大分県教育委員会、大分市教育委員会、財団法人大分県体育協会、社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同募金会、社団法人大分県理学療法士協会、NHK大分放送局、株式会社大分放送、株式会社テレビ大分、OAB大分朝日放送、株式会社エフエム大分

7 協賛(予定) オムロン株式会社、ソニー株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、株式会社大分銀行、南九州コカ・コーラボトリング株式会社、株式会社富士通フサス、株式会社九電工、大分みらい信用金庫、株式会社ジョイフル、キヤノン株式会社、富士通株式会社、株式会社アソウ・ヒューマニティーセンター

8 協力(予定) 大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、国立大学法人大分大学、国立別府重度障害者センター、医療法人社団恵愛会大分中村病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県障害者スポーツ指導者協議会、KLMオランダ航空会社、株式会社日本航空、全日本空輸株式会社、九州旅客鉄道株式会社

9 日時 平成21年10月24日(土)
11時00分～12時40分 コース下見(大分城址公園出発)
12時00分～15時30分 選手受付・クラス分け(大分県庁舎本館1階)
16時00分～
18時30分 ハレード・交歓の夕べ(若草公園)

平成21年10月25日(日)
9時00分～10時20分 手荷物・生活用車いすの受付(大分城址公園)
9時00分～10時20分 競技用車いすの検定(大分文化会館北側)
9時00分～10時20分 ウォームアップ(大分市役所北側)
10時20分～10時40分 プレラインアップ(大分市役所東側)
11時00分 マラソンスタート(大分県庁前)
11時03分 ハーフマラソンスタート(大分県庁前)
14時20分～ 閉会式・表彰(大分市営陸上競技場)

10 実施種目及びコース
マラソン (42.195km) 大分市内(日本陸上競技連盟公認コース)
ハーフマラソン (21.0975km) 大分市内(日本陸上競技連盟公認コース)

11 参加資格 (1) マラソン参加選手にあつては、以下の者とする。

①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本身体障害者陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者とする。

②外国・地域選手については、車いす使用者で、かつ各国の国際パラリンピック委員会に加盟した団体、またはそれに該当する団体に登録した者で、主催者が認定した者とする。

(2) ハーフマラソン参加選手にあつては、以下の者とする。
①国内選手については、身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者とする。

②外国・地域選手にあつては、車いす使用者で主催者が認定した者とする。

(3) 上記については、平成21年10月25日現在、満16歳以上の者とする。

12 競技規則 2008-2009 IPC ATHLETICS競技規則、平成21年度日本身体障害者陸上競技連盟競技規則及び別に定める本大会競技規則による。

13 クラス分け マラソン、ハーフマラソンとも3クラスに分ける。クラス分けが必要な選手については、受付において判定する。なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、IPC Athletics の国際クラスとしては承認されない。

14 ドーピング検査 本大会では、ドーピング検査を実施する。

15 表彰 表彰は、マラソン・ハーフマラソンともクラス別・男女別に1位から3位までとする。(順位決定には、IPC Athleticeにおける公認・非公認の別は影響しない。)

16 申込方法 参加申込書に必要事項を明記し、写真2枚を添付のうえ、平成21年8月31日(月)までに大会事務局あて送付すること(当日消印有効)。

17 競技中の事故について 競技中に事故が発生した場合には、応急の処置については主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする(健康保険証を持参すること)。また、傷害保険の加入については、主催者において行う。

18 雨天時の取扱い 雨天時においても原則として競技を実施する。

19 健康管理 出走における健康管理については、自己責任とする。

20 個人情報の取扱いについて 主催者及び大会事務局は、個人情報保護に関する法令を遵守する。

なお、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

21 大会事務局 大会事務局は、大分県福祉保健部障害福祉課内、大分県障がい者体育協会に置く。

所在地 (〒870-8501) 大分市大手町3丁目1番1号
電話番号 097-533-6006
F A X 097-506-1740

大分国際車いすマラソン大会事務局メールアドレス
kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
大分国際車いすマラソン大会ホームページURL (アドレス)
<http://www.kurumaisu-marathon.com/>

競技規則

- 1 本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
- 2 マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし、時間差は3分とする(男女共通)。
- 3 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 4 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 5 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。
- 6 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられるものとする。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。
- 7 競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可する。
- 8 競技者は、走行中、腕章をつけた明確に識別できる公式医務員及び競技役員から競技中止を命ぜられたときは、直ちに競技を中止しなければならない。
- 9 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
- 10 クラス分けについては、別紙クラス分け表による。
- 11 関門の制限時間を次のとおり設ける。
(マラソンの部)
5km地点……………30分00秒 15km地点……………1時間00分00秒
30km地点…2時間00分00秒 フィニッシュ地点…3時間00分00秒
(ハーフマラソンの部)
5km地点……………27分00秒 10km地点……………57分00秒
15km地点…1時間27分00秒 フィニッシュ地点…2時間07分00秒
制限時間を超えた競技者は、直ちに収容車に収容する。
- 12 水の供給については、次のとおりとする。
(1) 水供給所を次のとおり設ける。
マラソンの部…10km、20km、30km、40km地点付近
ハーフマラソンの部…10km、20km(マラソン40km地点と兼ねる。)地点付近
(2) 主催者が用意するものは水だけとし、清涼飲料水は準備しない。
(3) 競技者は、主催者が設けた場所以外で他人から飲食物やスポンジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員の介助を受けてもよい。
- 13 車いすについては、2008-2009 IPC ATHLETICS競技規則及び平成21年度日本身体障害者陸上競技連盟競技規則の規定を適用する。
- 14 本大会では、ドーピング検査を実施する。

【参考】

「車いすトラック競技に関する規定」

(2008-2009 IPC ATHLETICS競技規則から抜粋)

- 車いすは最低でも2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとする。
- 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ているはならず、また2つの後輪の車軸を結んだ幅より広く突き出ているはならない。車いす本体の地面からの高さは最高50cmとする。
- 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70cm、50cmを超えてはならない。
- 各大輪には平らで円形のハンドリムをただ1つつけることができる。片腕で車いすを操作する競技者については、診断書および大会へのエントリー用紙に記載されていれば、この規則を変更することができる。
- 車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。
- 機械的推進装置は腕で操作するもののみ認められる。
- 800m以上のすべてのレースでは、競技者は前輪を手動で左右に動かしても良い。
- トラック及び道路競技ではミラーの使用は禁止する。
- 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているはならない。
- 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
- 車いすは招集場で測定され、競技開始前にその場所を離れることはできない。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始または終了後に競技役員が再検査することがある。
- 競技役員は、何よりも車いすの安全性に責任を持たなくてはならない。
- 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面またはトラックに接触しないようになくてはならない。

【別紙】クラス分け表

T51

- ・このクラスの選手は通常、肘が屈曲し、手関節背屈筋力は5までであり、肩の筋肉の衰え、特に大胸筋、上腕三頭筋の機能は0-3である。
- ・推進力として肘屈筋と手関節背屈筋力を使う。
- ・膝が顎の下になるまっすぐに座るポジションを取る。
- ・ハンドリムは大きい。
- ・C5-6レベル、完全損傷の選手と同じく運動機能が制限される。

T52

- ・このクラスの選手は通常、肩・肘そして手関節の機能は正常、手指屈筋と伸筋はやや劣る～通常であり、手内在筋の萎縮を伴う。
- ・推進力として、肩、肘そして手首を使う。
- ・通常、体幹機能はない。
- ・次の2つのクラス(T53/54)に良く似ている、グローブによるテクニックを使うこともある。
- ・C7-8レベル、完全損傷の選手と同じく運動機能が制限される。

T53/54

T53

- ・このクラスの選手は正常な腕の筋力を持ち、腹筋、下部背筋の機能は無い。
- ・体を水平にすることを含め、足りない腹筋機能を補うために異なるテクニックを用いる。
- ・レースのペースが速くなった時、彼らの加速はT54クラスより遅い。
- ・一般的に加速した時、体幹を抑えるための腹筋の機能低下により、体幹は腿から上昇する。
- ・通常、漕ぐサイクルを調整・補正するため、漕ぐ動作を中断しなくてはならない。
- ・T1-7レベル、完全損傷の選手と同じく運動機能が制限される。

T54

- ・このクラスの選手は正常な腕の筋力を持ち、体幹の筋力は部分的もしくは正常な体幹機能を有する範囲がある。
- ・このグループに属して競技をする選手は、足にかなりの筋力があることがある。
- ・このクラスの選手は正常な体幹機能を持ち、ハンドリムに推進力となる力を与えた時、自身の体幹を倒したまま維持することが出来る。
- ・通常、漕ぐサイクルを調整、補正するために漕ぐ動作を中断することはない。
- ・上半身を起し、体幹を回旋させ、車いすの方向を変更することが出来る。
- ・T8-S4レベル、完全損傷の選手と同様の運動機能が制限される。

このクラスで競技する選手は4.1.4(手足欠損)、4.1.5(*PROM障害)4.1.6(筋力障害)もしくは4.1.7(下肢長の差異)で提示している、1つもしくはそれ以上、最小限の障がい基準を満たさなければならない。
*PROM…Passive Range of Motion(他動関節可動域)

(※)詳しいことについては、IPC ATHLETICS身体障がいクラス分けマニュアル(下記)をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。

http://www.paralympic.org/release/Summer_Sports/Athletics/Classification/



第28回大会の結果

マラソン(42.195km)

■男子T51 完走者なし

■女子T51 出走者なし

■男子T52

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	1'47'17"	51	上野那原 寛和	37	沖縄県 JAPAN
2	1'50'44"	50	高田 稔浩	43	福井県 JAPAN
3	2'07'22"	64	クレイトン・ガーリン	44	カナダ CANADA

■女子T52

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	2'07'28"	76	八巻 智美	37	福島県 JAPAN

世界新

■男子T53/54

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	1'26'06"	6	ハインツ・フライ	50	スイス SWITZERLAND
2	1'27'35"	5	マルセル・フグ	22	スイス SWITZERLAND
3	1'27'36"	4	副島 正純	38	福岡県 JAPAN

■女子T53/54

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	1'43'33"	34	アマンダ・マクグロリー	22	アメリカ U.S.A.
2	1'44'20"	21	サンドラ・グラフ	38	スイス SWITZERLAND
3	1'47'19"	48	ダイアン・ロイ	37	カナダ CANADA

ハーフマラソン(21.0975km)

■男子T51

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	1'36'26"	442	濱添 要	36	長崎県 JAPAN
2	1'39'25"	485	長崎 裕也	26	大分県 JAPAN
3	1'45'37"	452	平山 健悟	21	福岡県 JAPAN

■女子T51 完走者なし

■男子T52

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	1'04'00"	386	浜上 悟	33	石川県 JAPAN
2	1'07'54"	392	佐藤 仁志	26	岡山県 JAPAN
3	1'08'37"	389	吉野 真旨	40	兵庫県 JAPAN

■女子T52

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	1'12'37"	410	佐藤 由加	24	岡山県 JAPAN
2	1'19'45"	412	要田 美紀	45	東京都 JAPAN
3	1'36'10"	448	クリステン・メッサー	21	アメリカ U.S.A.

■男子T53/54

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	0'46'51"	303	渡辺 習輔	40	大分県 JAPAN
2	0'47'26"	305	松永 仁志	36	岡山県 JAPAN
3	0'47'27"	306	西原 宏明	28	京都府 JAPAN

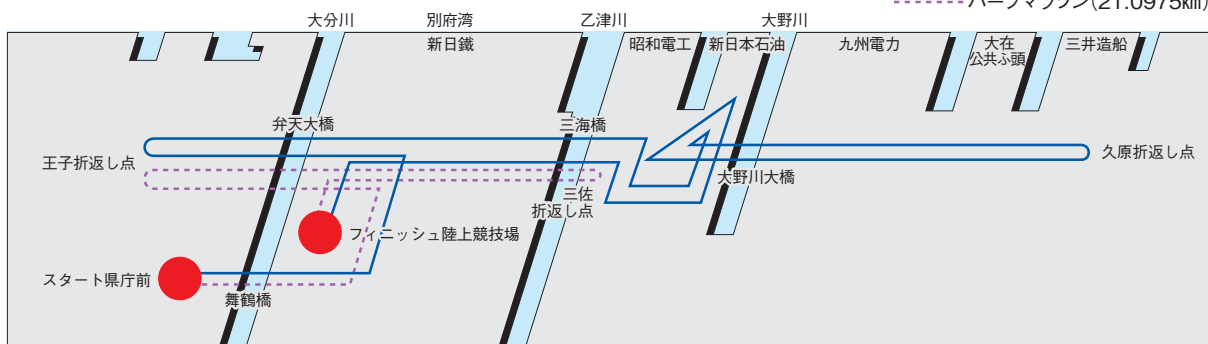
■女子T53/54

順位	記録	ナンバー	氏名	年齢	都道府県/国/地域
1	1'02'12"	379	高嵩 瑞貴	30	東京都 JAPAN
2	1'05'36"	400	新田 恵子	30	広島県 JAPAN
3	1'06'16"	381	緑川 まり子	44	東京都 JAPAN

協賛



第29回大会コースマップ



(本大会の開催経費の一部は、赤い羽根共同募金の配分により運営されています。)